

アメリカ合衆国
モンタナ州から
いらっしゃいました。

Hello! Ms. Ivy Shughart

アイヴィー先生に会ったら「ハロー ミス アイヴィー」と挨拶しよう。



アイヴィー先生の授業は英語で行います。子ども達が分からないときは、担任の先生がサポートします。取材の日には自分の誕生日を英語で話す「My birthday day」や相手の誕生日を聞く「When is your birthday?」を中心に進められました。

絵と単語が書かれているカードを使って、子ども達は先生の英語をしっかりと聞いて、あとに続いて発音していました。先生に誕生日を聞かれ、元気に答えたり、恥ずかしそうに答える様子も見られました。後半では友達同士で誕生日を言ったり、質問しあって楽しそうに取り組んでいました。子ども達の発音はとてよく、生きた英語の授業はとて素晴らしいと思いました。

アイヴィー先生から子ども達へのメッセージ
"Don't be afraid a volunteer." "積極的に授業に参加してください。" 間違えをおそれずに、どんどん質問をしてください。みんなが英語を覚えるのをお手伝いしたいので、質問してくれと思います。

アイヴィー先生が最初に出会った日本は、アメリカでも大人気の「ポケモン」でした。日本のゲームも好きだそうですよ。
"Do you like Game?" "ゲームは好きですか?" "What is your favorite Pokemon monster?" "どのモンスターがお気に入りですか?" などと質問して、英語を話すチャンスにしてみましょう。



1学期の相原小
5/20スポーツデー
体力がどれくらい
成長したか各種目で
測定します。



6/3 地区懇談会
地域の方々や先生、保護者が集まり、通学路の安全や不審者情報について話し合いました。

5年生の授業の様子。夏休み前
で先生の話を聞き、意見を出し
合っていました。

ALTってどんな授業?

相原小では、どんな英語の授業をしているのでしょうか? 6年生の授業を取材しつつ、学年ごとにどんな狙いがあるのか伺いました。大学で日本について学び、今年来日されたアイヴィー先生は、「生徒たちの学びのお手伝いをしたい」と頑張っている、熱意のある優しい先生です。

学年毎の授業の違い

- ・1~4年生(年に8時間)
アクティビティを中心に、英語に慣れ、楽しむ。
- ・5年生(年に24時間)
授業の時間が増え、アクティビティを中心に、より英語に親しんでいく。
- ・6年生(年に24時間)
スペル(綴り、書くこと)が必要になってくる。ゲームなどで英語に親しむやり方とともに、考えるような授業も展開していく。

国際化の期待が高まる中、改訂学習指導要領が2008年3月告示され、小学校英語活動の導入が始まりました。町田市では従来から行われてきたALT(外国語指導補助者)派遣事業を再構築し、玉川大学と連携し、小中一貫教育英語カリキュラムとは5学年は基礎となる英語にふれる体験期、中学年は基礎となる英語にふれる充実期、高学年は体系的活動の充実とコミュニケーション能力の習得期として構成されています。楽しく英語にふれる活動を通して、異文化理解や国際的なもののとらえ方のできる子に育ててほしいですね。

校長 小林 憲市

message

ABC abc

2年生 消防車写生会



お天気に恵まれ
絶好の消防車写生会
日和でした。
みんな真剣な表情で
消防車を描いていま
した。

3年生 町探検



自分たちの住む相原を歩き、
探検しました。豊富な自然と、
歴史あるものに発見がたくさ
んありました。



すこやか 顔字デザイン 小林康市校長先生

先生にアンケート

- ①こどもの頃のあだ名
- ②好きな有名人
- ③最近チャレンジした事
- これからチャレンジしたい事



副校長 小澤 智幸

- ①とも
- ②好きというのではないですが、星野源さんって、歌も役者も、そして作家的活動もして、すごい人だなあと思っています。
- ③今年度【木育】に取り組むので、木工にチャレンジしたい。そのために電気のかさねなどの、いろいろな電気工場の使い方もマスターしたい。

今年度は、相原町の地域資源である森林を活用し、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」をテーマとして、「木育」の研究を行います。この研究を通じて、地域の資源のしさを、地域の皆様との交流を深め、相原町を大切に思う心を育ててまいります。

今後とも、ご理解と協力をお願いします。

4/28 PTA総会



各委員会の活動報告がなされ、承認されました。

平成29年07月06日発行

第179号

発行責任者: PTA会長 大沢 淳

協賛: 教育振興会

編集: 広報部

この広報誌は教育振興会のご協力により発行しています。

相原小PTAホームページ

<http://aiharashoptehp.wixsite.com/aiharapta>



校長 小林 憲市

- ①けんちゃん
- ②永六輔
- ③いつも何かに熱中できることを続けていきたい

相原の
自然と共に
学ぶこと

昨年度は、東京都の人権尊重教育の推進校として、2月に研究発表会を行いました。たくさんの方の地域の皆様にもご来校いただき、大変ありがとうございました。また、PTA役員の皆様には、研究発表会を開催するにあたり、様々なご協力をいただきました。この場をおかりして御礼申し上げます。

今年度は、相原町の地域資源である森林を活用し、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」をテーマとして、「木育」の研究を行います。この研究を通じて、地域の資源のしさを、地域の皆様との交流を深め、相原町を大切に思う心を育ててまいります。

今後とも、ご理解と協力をお願いします。



PTA会長

大沢 淳

相原の自然の素晴らしさは皆さん既にご存知のことと思います。昨年は木育(もくいく)という学校側の教育テーマを受け、大地の恵みを使用した親子夏祭りを行いました。暑い中での作業でしたが、皆さん一人ひとりが達成感を感じたことが、皆さん一人ひとりの成長につながりました。これも相原の自然があるからこそできる楽しさではないでしょうか。想い出が豊かな子供たちは、自然との関わりの中で多くのものを学ぶことと思います。今年も学校側と共に木育に力を入れたいと考えておりますので是非ご参加ください。

PTA活動におきましては、今年も「無理なく、楽しく」、「できる範囲」を心がけ、委員の皆様と共に子供たちのための活動をしてまいります。ご協力の賜、宜しくお願い致します。

先生にアンケート

